

交通情勢及び交通事故等の状況

※本資料の内容は、第12次交通安全計画の第1部第1章及び第2章に掲載予定です。

目次

1	交通情勢等.....	1
	（1）区内の道路延長の推移.....	1
	（2）運転免許保有人口の推移.....	1
	（3）自動車保有台数の推移.....	1
	（4）自転車防犯登録数の推移.....	1
	（5）自転車検挙件数の推移.....	1
	（6）法令改正等の状況.....	2
2	第11次交通安全計画期間の状況	3
	（1）交通事故件数・死傷者数.....	3
	（2）年齢階層別死傷者数.....	4
	（3）状態別死傷者数.....	5
3	区内の交通事故の特徴.....	6
	（1）高齢者の交通事故.....	6
	（2）子どもの交通事故.....	10
	（3）自転車の交通事故.....	15
	（4）二輪車の交通事故.....	19
	（5）飲酒運転による交通事故.....	22
	（6）特定小型原動機付自転車事故の状況.....	25
	（7）外国人運転者による交通事故の状況.....	28

用語の意味

交通事故	： 道路交通法第 2 条第 1 項に規定する道路において、車両、路面電車及び列車（軌道車）の交通によって起こされた、人の死亡又は負傷を伴った事故及び物的損害を伴った事故
死亡（死者）	： 交通事故発生から 24 時間以内に死亡した場合（人）
重傷（重傷者）	： 交通事故により負傷し、加療日数が 30 日以上の場合（人）
軽傷（軽傷者）	： 交通事故により負傷し、加療日数が 30 日未満の場合（人）
負傷（負傷者）	： 重傷（重傷者）と軽傷（軽傷者）の合計
死傷者	： 死亡者数と負傷者数の合計
子ども	： 幼児、小学生、中学生
若年層	： 中学校卒業後から 25 歳未満までの年齢層の人
成年層	： 25 歳から 65 歳未満までの年齢層の人
高齢者	： 年齢 65 歳以上の人
二輪車	： 自動二輪車、原動機付自転車

各表の数値について

各表で用いている比率（％）は、小数点以下第二位を四捨五入しているもので、計又は合計が必ずしも 100%にならない場合があります。また、統計の主体により同じ項目でも数値に誤差が生じる場合があります。

分析をする際に、区内の統計だけでは足りない場合は、広域に集計された統計を使用しています。

データについて

本冊子に掲載しているデータは、以下の出典によるものです。

警察庁統計資料	： 警察庁が公表している統計資料
警視庁交通年鑑	： 警視庁が発行している統計資料
区内四署集計	： 文京区内 4 警察署（富坂、大塚、本富士、駒込）に依頼して集計したデータ（最終確定値ではない）
第 12 次東京都交通安全計画	： 東京都が発行している統計資料
文京の統計	： 文京区が発行している統計資料

1 交通情勢等

(1) 区内の道路延長の推移

表 1-1 区内道路延長

文京の統計／（単位：m）

区分 \ 年	令和3年	4年	5年	6年	7年
区道	170,893	170,893	170,893	170,922	170,922
都道	26,108	26,108	26,108	26,108	26,108
国道	8,173	8,173	8,173	8,173	8,173
合計	205,174	205,174	205,174	205,203	205,203

(2) 運転免許保有人口の推移

表 1-2 区内運転免許保有人口

警視庁交通年鑑／（単位：人）

行政区分 \ 年	令和3年	4年	5年	6年	7年
文京区	133,724	134,885	136,554	138,066	※集計中
特別区	5,510,135	5,542,928	5,603,955	5,655,723	※集計中
東京都	8,094,727	8,132,522	8,200,108	8,256,060	※集計中

(3) 自動車保有台数の推移

表 1-3 区内自動車保有台数

警視庁交通年鑑／（単位：台）

行政区分 \ 年	令和3年	4年	5年	6年	7年
文京区	43,796	43,686	43,453	43,260	※集計中
特別区	2,735,683	2,737,013	2,731,720	2,738,165	※集計中
東京都	4,942,683	4,641,638	4,948,466	4,953,917	※集計中

(4) 自転車防犯登録数の推移

表 1-4 区内自転車防犯登録数

警視庁交通年鑑／（単位：台）

行政区分 \ 年	令和3年	4年	5年	6年	7年
文京区	161,660	156,376	149,407	142,908	※集計中
特別区	11,691,141	11,513,332	11,149,680	10,847,291	※集計中
東京都	16,878,405	16,633,951	16,123,062	15,686,274	※集計中

(5) 自転車検挙件数の推移

表 1-5 区内自転車検挙件数

警察庁統計資料／（単位：件）

行政区分 \ 年	令和3年	4年	5年	6年	7年
全国	21,906	24,549	44,207	51,564	60,163

（６）法令改正等の状況

- ① 令和４年５月１３日から、免許更新の際に 75 歳以上の運転者を対象に実施されていた高齢者講習が一元化されるとともに、一定の違反歴がある高齢運転者を対象とした「運転技能検査」が義務付けられるなど、高齢運転者対策が強化されました（道路交通法の改正）。
- ② 令和５年４月１日から、全ての自転車利用者を対象に、乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されました（道路交通法の改正）。
- ③ 令和５年７月１日から、一定の基準を満たす電動キックボード等が「特定小型原動機付自転車」として新たに整理され、運転免許を受けずに運転することができるようになるなど、新たな交通ルールが適用されました（道路交通法の改正）。
- ④ 令和６年１１月１日から、自転車運転中にスマートフォン等を使用する「ながら運転」（ながらスマホ）の罰則が強化され、「自転車の酒気帯び運転」に罰則が新設されました（道路交通法の改正）。
- ⑤ 令和７年３月２４日から、運転免許に関する情報をマイナンバーカードに記録することを申請できることとされ、カードに記録する免許情報や免許更新等に関する必要な改正が行われました。
- ⑥ 令和８年４月１日から、交通反則通告制度が自転車に適用され、自転車による悪質・危険な行為が取り締まりの対象となりました（道路交通法の改正）。
- ⑦ 令和８年９月１日から、生活道路における自動車の法定速度が 60 km/h から 30 km/h に引き下げられました（道路交通法施行令の改正）。

2 第11次交通安全計画期間の状況

(1) 交通事故件数・死傷者数

文京区の第11次計画期間（以下、「第11次」といいます。）の死傷者数をみると、令和3年に前年と比べて事故件数及び死傷者数が大きく増加してから、ほぼ横ばいで推移しています。前年の令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が出され、外出自粛や経済活動の停滞等によって、交通事故が減少したものと考えられます。

事故件数は、第11次の平均が465件で、第10次改訂版計画期間（以下、「第10次改訂版」といいます。）の同400件に比べ、16.3%増加しました。また、死傷者数は、第11次の平均が502人で、第10次改訂版の同449人に比べ、11.8%増加しました。

一方で、都内全体の事故件数は2.9%減少し、死傷者数は6.3%減少しました。

表 2-1 交通事故件数・死傷者数

警視庁交通年鑑／（単位：件人）

区分	年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
		平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
文京区	事故件数	430	390	405	406	367	400	476	450	469	472	459	465
	死傷者	488	440	454	457	405	449	508	484	505	511	500	502
	内訳												
	死者	1	1	0	2	1	1	0	2	1	3	1	2
東京都	負傷者	487	439	454	455	404	448	508	482	504	508	499	500
	事故件数	32,412	32,763	32,590	30,467	25,642	30,775	27,598	30,170	31,385	30,103	30,176	29,886
	死傷者	37,987	38,158	37,586	34,910	29,043	35,537	30,969	33,561	35,006	33,397	33,535	33,294
	内訳												
	死者	159	164	143	133	155	151	133	132	136	146	134	136
	負傷者	37,828	37,994	37,443	34,777	28,888	35,386	30,836	33,429	34,870	33,251	33,401	33,158

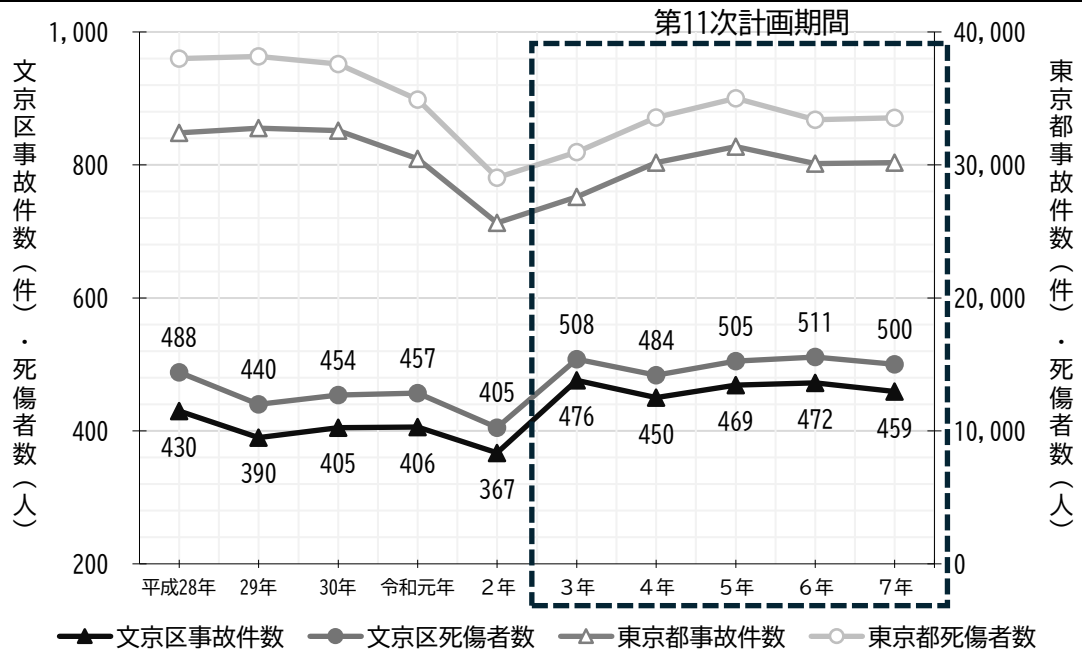


図 2-1 交通事故件数・死傷者数

(2) 年齢階層別死傷者数

年齢階層別死傷者数の推移をみると、都内全体においては、減少傾向にある年齢層が多いのに対し、区では全ての年齢層において第10次改訂版を上回りました。特に、若年層は25.6%と最も増加率が高くなっています。

表 2-2 年齢階層別死傷者数

警視庁交通年鑑／（単位：人）

年 年齢層		第 10 次改訂版計画期間						第 11 次計画期間						増減率
		平成 28 年	29 年	30 年	令和元年	2 年	平均	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	平均	
文京区	子ども	31	22	32	22	23	26	32	26	20	28	31	27	3.8%
	若年層	47	40	31	48	31	39	46	40	58	50	49	49	25.6%
	成年層	341	297	328	314	288	314	352	340	342	370	338	349	10.8%
	高齢者	69	81	63	73	63	70	78	78	85	63	82	77	10.0%
	合計	488	440	454	457	405	449	508	484	505	511	500	502	11.6%
東京都	子ども	2,274	2,239	2,233	2,097	1,618	2,093	1,798	1,910	2,163	2,012	2,002	1,977	-5.5%
	若年層	3,985	4,176	4,080	3,868	3,046	3,831	3,257	3,735	3,925	3,700	3,746	3,673	-4.1%
	成年層	26,202	26,143	25,493	23,179	19,690	24,141	20,615	21,743	22,416	21,339	21,322	21,487	-11.0%
	高齢者	5,526	5,600	5,780	5,766	4,689	5,472	5,299	6,173	6,502	6,346	6,465	6,157	12.5%
	合計	37,987	38,158	37,586	34,910	29,043	35,537	30,969	33,561	35,006	33,397	33,535	33,294	-6.3%

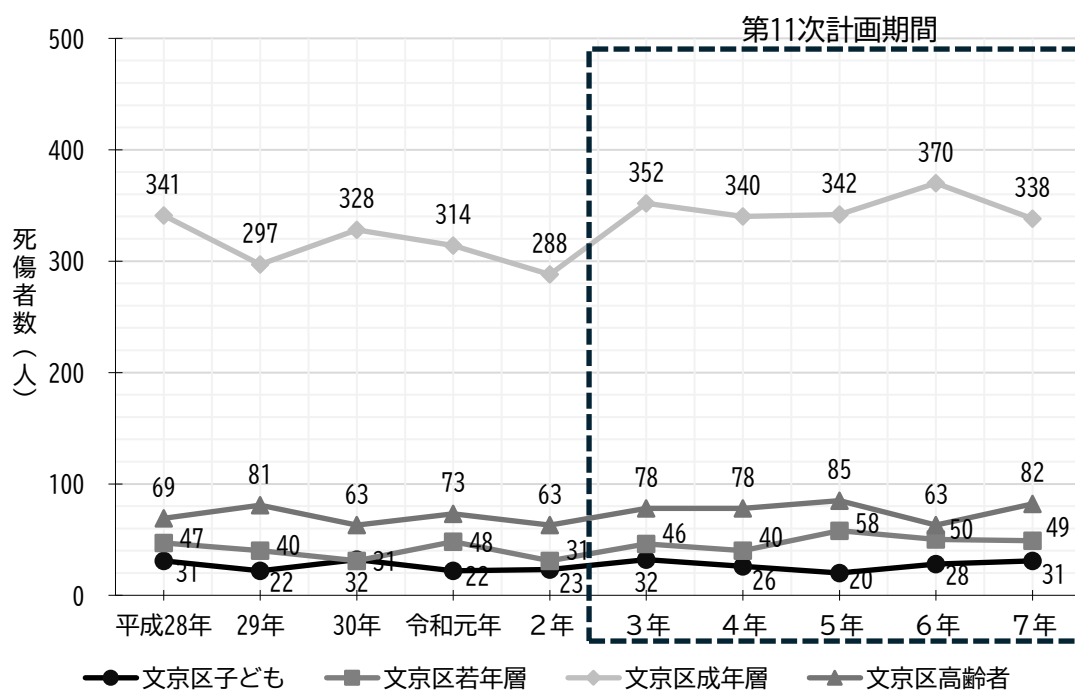


図 2-2 年齢階層別死傷者数 (文京区)

(3) 状態別死傷者数

第11次の状態別死傷者数の平均は、第10次改訂版に比べて、四輪乗車中と歩行中は減少しましたが、二輪乗車中と自転車乗用中は増加しています。特に自転車乗用中は62人増加し、約1.5倍に増えています。

表 2-3 状態別死傷者数

警視庁交通年鑑／（単位：人）

状態	年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間						増減率
		平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均	
文京区	四輪乗車中	200	169	155	138	142	161	128	134	126	131	130	130	-19.3%
	二輪乗車中	84	67	61	74	71	71	93	83	115	83	91	93	31.0%
	自転車乗用中	121	113	148	155	113	130	196	181	173	210	201	192	47.7%
	歩行中	83	91	87	89	79	86	91	85	90	82	70	84	-2.3%
	その他 ^{※1}	0	0	3	1	0	1	0	1	1	5	8	3	200.0%
	合計	488	440	454	457	405	449	508	484	505	511	500	502	11.8%
東京都	四輪乗車中	15,834	15,401	14,229	11,918	9,404	13,357	9,477	9,514	9,727	9,211	9,217	9,429	-29.4%
	二輪乗車中	5,336	5,403	5,179	5,107	4,470	5,099	4,634	5,060	5,393	5,101	5,152	5,068	-0.6%
	自転車乗用中	9,998	10,457	11,184	11,229	9,737	10,521	11,356	13,027	13,602	12,928	12,982	12,779	21.5%
	歩行中	5,266	5,404	5,550	5,359	4,409	5,198	4,606	4,915	5,240	5,101	5,184	5,009	-3.6%
	その他 ^{※1}	21	24	33	25	27	26	20	42	53	193	217	105	303.8%
	合計 ^{※2}	36,455	36,689	36,175	33,638	28,047	34,201	30,093	32,558	34,015	32,534	32,752	32,390	-5.3%

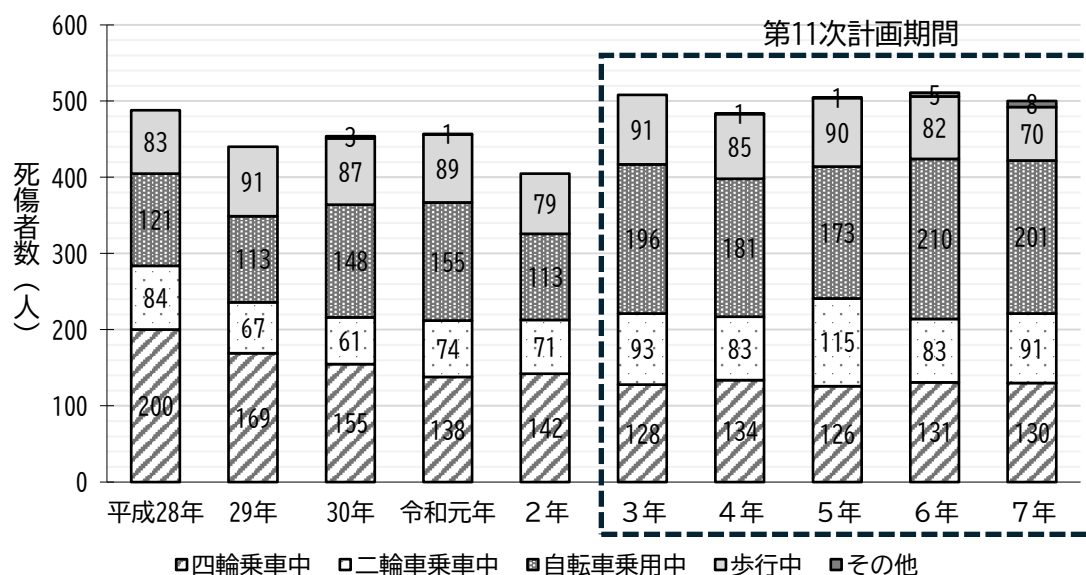


図 2-3 状態別死傷者数（文京区）

¹ 特定小型原動機付自転車、特殊車両等

² 高速隊の集計は含まない

3 区内の交通事故の特徴

(1) 高齢者の交通事故

① 高齢者の交通事故死傷者数

第11次の高齢者の交通事故死傷者数は、第10次改訂版から、ほぼ横ばいで推移しています。

表 2-4 高齢者事故死傷者数

警視庁交通年鑑／（単位：件 人）

区分		年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
			平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
文京区	全体	死傷者	488	440	454	457	405	449	508	484	505	511	500	502
		内訳												
		死者	1	1	0	2	1	1	0	2	1	3	1	2
	高齢者	負傷者	487	439	454	455	404	448	508	482	504	508	499	500
		死傷者	69	81	63	73	63	70	78	78	85	63	82	77
		内訳												
東京都	全体	死者	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
		負傷者	68	81	63	72	63	70	78	77	85	63	81	77
		割合	14.1%	18.4%	13.9%	16.0%	15.6%	15.6%	15.4%	16.1%	16.8%	12.3%	16.4%	15.4%
	高齢者	死傷者	37,987	38,158	37,586	34,910	29,043	35,537	30,969	33,561	35,006	33,397	33,535	33,294
		内訳												
		死者	159	164	143	133	155	151	133	132	136	146	134	136
	高齢者	負傷者	37,828	37,994	37,443	34,777	28,888	35,386	30,836	33,429	34,870	33,251	33,401	33,158
		死傷者	5,526	5,600	5,780	5,766	4,689	5,472	5,262	6,115	6,431	6,299	6,408	6,103
		内訳												
		死者	63	63	60	55	60	60	58	54	46	56	63	55
		負傷者	5,463	5,537	5,720	5,711	4,629	5,412	5,204	6,061	6,385	6,243	6,345	6,048
		割合	14.5%	14.7%	15.4%	16.5%	16.1%	15.4%	17.1%	18.4%	18.6%	19.0%	19.3%	18.5%

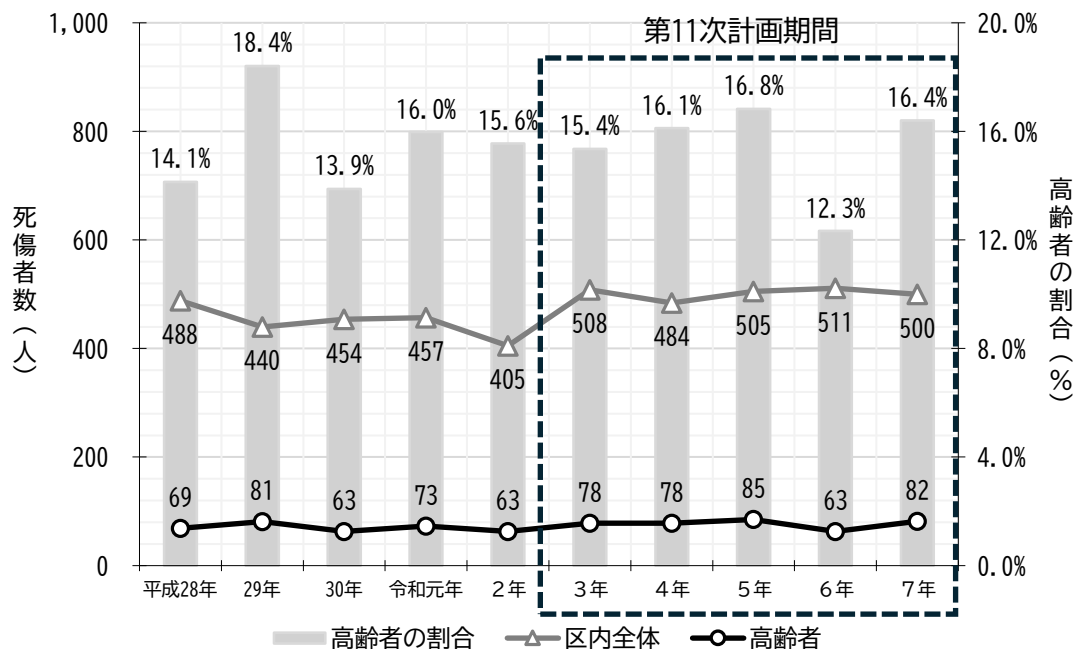


図 2-4 年齢階層別死傷者数（文京区）

② 高齢者の事故原因別死傷者数

高齢者の交通事故死傷者数を事故原因別にみると、第11次の年平均では、自転車乗用中が37人で最も多くなっています。第10次改訂版に比べると、割合が約3割から約5割に増加しました。

表 2-5 高齢者の事故原因別死傷者数

東京都：警視庁交通年鑑 文京区：区内四署集計／（単位：人）

区分			年	第 10 次改訂版計画期間					第 11 次計画期間					
				平成 28 年	29 年	30 年	令和元 年	2 年	平均	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年
文京区	車両事故	四輪車乗車中(運転・同乗)	23	23	16	23	14	20	12	16	17	9	12	13
		二輪車乗車中(運転・同乗)	6	3	5	3	9	5	10	6	7	4	10	7
		自転車運転中	13	20	22	27	19	20	34	41	26	37	46	37
		小計	42	46	43	53	42	45	56	63	50	50	68	57
	歩行者事故	過失なし	10	27	15	16	12	16	17	7	10	7	13	11
		横断禁止場所横断	0	3	1	2	2	2	2	2	0	0	1	1
		信号無視	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	2	1
		飛び出し	1	2	2	0	2	2	3	0	0	0	0	1
		車の直前・直後横断	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0
		通行区分違反	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	1
		小計	11	33	18	19	18	20	24	11	13	10	16	15
	合計	53	79	61	72	60	65	80	74	63	60	84	72	
東京都	車両事故	四輪車乗車中(運転・同乗)	1,941	1,858	1,720	1,536	1,106	1,632	1,154	1,191	1,255	1,203	1,189	1,198
		二輪車乗車中(運転・同乗)	368	407	383	383	337	376	353	370	432	440	435	406
		自転車運転中	1,780	1,870	2,194	2,392	2,100	2,067	2,521	3,263	3,428	3,389	3,508	3,222
		小計	4,089	4,135	4,297	4,311	3,543	4,075	4,028	4,824	5,115	5,032	5,132	4,826

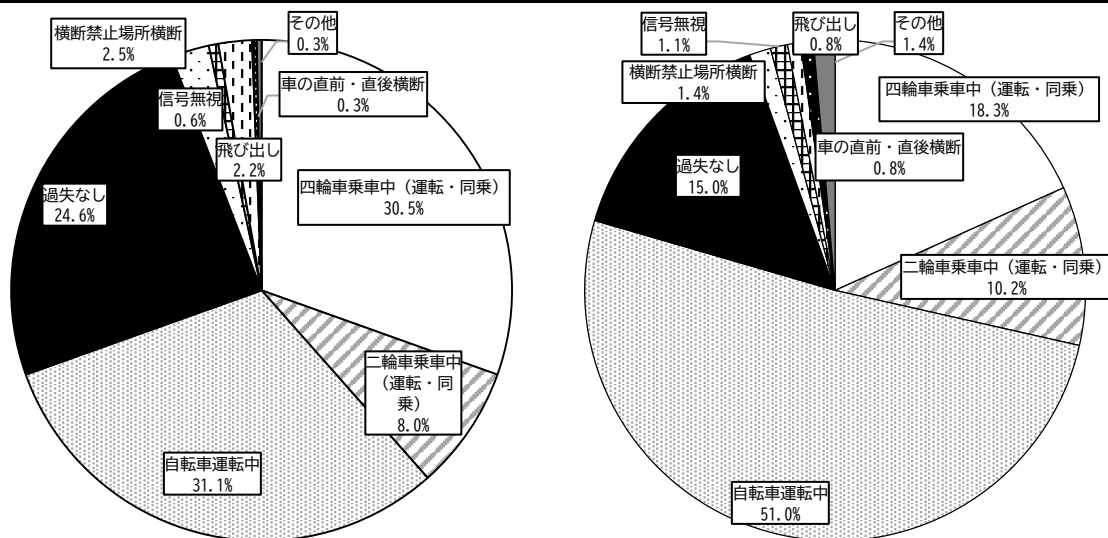


図 2-5 高齢者の事故原因別死傷者割合（文京区）

（左：第10次改訂版計画期間年平均 右：第11次計画期間年平均）

*グラフで用いている割合（%）は、表に出ていない総合計を基にした割合となり、表上の年平均を基にした割合と誤差があります。

③ 都内高齢者の運転中（第一当事者^{※3}）の事故原因別死傷者数

都内において高齢者が第一当事者となる運転中の事故を原因別にみると、第11次の年平均では、安全不確認が1,721人で最も多くなっており、第10次改訂版に比べると、人数は391人減少していますが、全体に占める割合はほぼ同程度となっています。

表 2-6 都内高齢者の運転中（第一当事者）の事故原因別死傷者数

警視庁交通年鑑／（単位：人）

区分		年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
			平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
東京都	安全運転義務	安全不確認 ^{※4}	2,229	2,205	2,273	2,201	1,652	2,112	1,624	1,618	1,858	1,723	1,780	1,721
		前方不注意 ^{※5}	744	762	727	624	504	672	469	522	585	540	501	523
		動静不注意 ^{※6}	377	379	398	301	266	344	277	279	309	282	261	282
		ハンドル・ブレーキ操作不適	343	345	404	312	250	331	280	298	339	335	328	316
		その他の安全運転義務 ^{※7}	223	287	287	335	261	279	268	316	136	86	86	178
		小計	3,916	3,978	4,089	3,773	2,933	3,738	2,918	3,033	3,227	2,966	2,956	3,020
	交通安全義務違反等	交差点安全進行義務違反 ^{※8}	1,146	1,173	1,065	1,053	812	1,050	824	915	939	947	936	912
		歩行者妨害等 ^{※9}	281	318	294	272	202	273	221	229	245	213	226	227
		横断自転車妨害等 ^{※10}	64	82	79	77	51	71	65	54	43	53	36	50
		信号無視	150	133	125	144	132	137	115	121	126	138	125	125
		一時不停止等	56	77	80	83	65	72	71	77	89	100	94	86
		安全不確認ドア開放	92	106	108	79	49	87	61	63	69	34	44	54
		その他	90	117	117	115	83	104	131	121	132	136	123	129
		違反なし	1,224	1,131	1,086	929	676	1,009	673	715	708	649	623	674
		合計	7,019	7,115	7,043	6,525	5,003	6,541	5,079	5,328	5,578	5,236	5,163	5,277

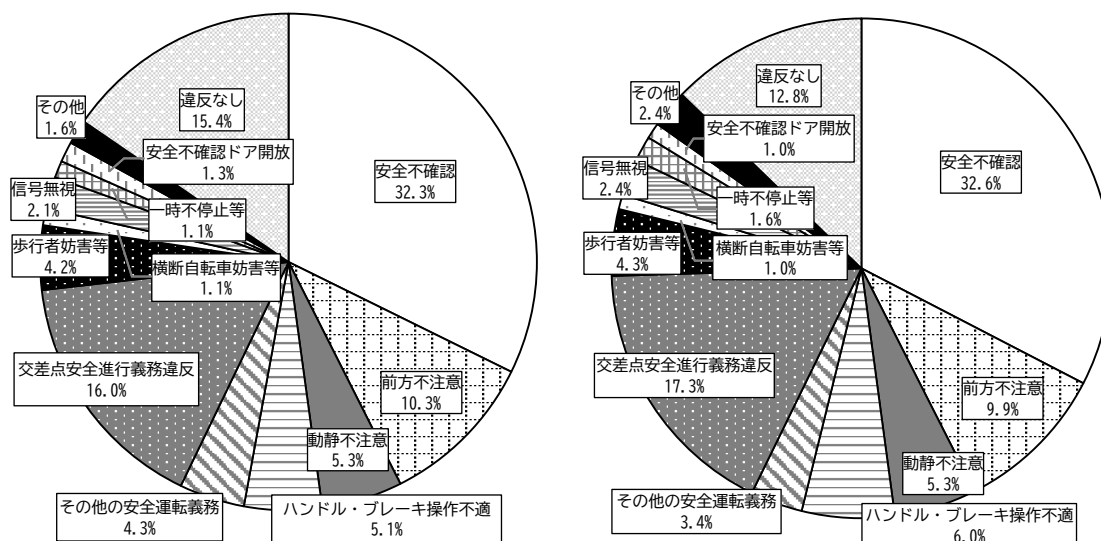


図 2-6 高齢者の運転中（第一当事者）の事故原因別死傷者割合

（左：第10次改訂版計画期間年平均 右：第11次計画期間年平均）

* グラフで用いている割合（％）は、表に出ていない総合計を基にした割合となり、表上の年平均を基にした割合と誤差があります。

³ 最初に交通事故に関与した車両等の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故過失が重い者をいい、また、過失が同程度の場合には、人身損傷程度が軽い者

⁴ 安全確認を怠ったために事故相手に気付かなかった、あるいは発見が遅れたこと

⁵ 集中力や注意力が低下した状態で車を運転すること、前方から視線を外してしまうことや周りの風景などに気を取られてしまい目をそらして運転していること

⁶ 相手車両の存在をあらかじめ認識をしていたものの、いまだそれが事故に結びつく具体的な危険はないものと判断して、相手車両の動静の注視を怠ったこと

⁷ 手放し運転、ジグザグ運転等

⁸ 交差点を進行する際に歩行者や他の車両に対して注意を怠ること

⁹ 横断歩道手前での減速義務違反や停止義務違反

¹⁰ 横断歩道の設けられていない場所において歩行者や自転車が道路を横断しているとき、その通行を妨げること

(2) 子どもの交通事故

① 子どもの交通事故死傷者数

第11次の子どもの交通事故死傷者数は、第10次改訂版から、ほぼ横ばいで推移しています。

表 2-7 子ども事故死傷者数

警視庁交通年鑑／（単位：人）

区分			年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
				平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
文京区	全体	死傷者		488	440	454	457	405	449	508	484	505	511	500	502
		内訳	死者	1	1	0	2	1	1	0	2	1	3	1	2
			負傷者	487	439	454	455	404	448	508	482	504	508	499	500
	子ども	死傷者		31	22	32	22	23	26	32	26	20	28	31	27
		内訳	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			負傷者	31	22	32	22	23	26	32	26	20	28	31	27
	割合			6.4%	5.0%	7.0%	4.8%	5.7%	5.8%	6.3%	5.4%	4.0%	5.5%	6.2%	5.4%
東京都	全体	死傷者		37,987	38,158	37,586	34,910	29,043	35,537	30,969	33,561	35,006	33,397	33,535	33,294
		内訳	死者	159	164	143	133	155	151	133	132	136	146	134	136
			負傷者	37,828	37,994	37,443	34,777	28,888	35,386	30,836	33,429	34,870	33,251	33,401	33,158
	子ども	死傷者		2,274	2,239	2,233	2,097	1,618	2,092	1,763	1,886	2,138	1,987	1,982	1,951
		内訳	死者	5	6	5	1	5	4	3	1	3	2	2	2
			負傷者	2,269	2,233	2,228	2,096	1,613	2,088	1,760	1,885	2,135	1,985	1,980	1,949
	割合			6.0%	5.9%	5.9%	6.0%	5.6%	5.9%	5.7%	5.6%	6.1%	5.9%	5.9%	5.9%

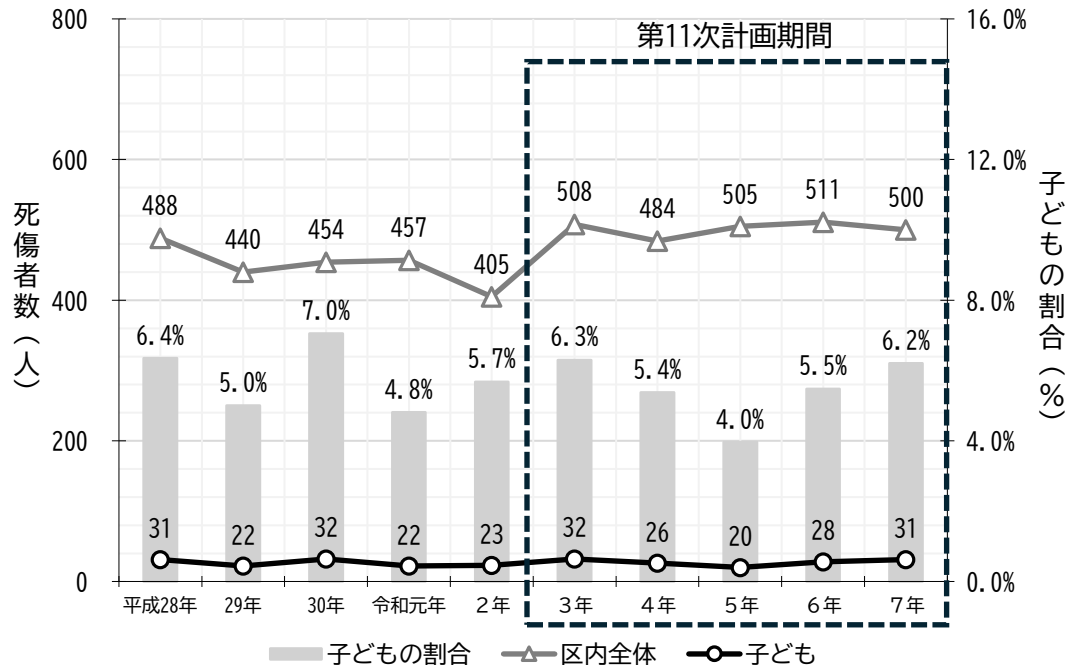


図 2-7 子ども事故死傷者数（文京区）

② 都内年齢層別時間帯別子どもの歩行中の交通事故件数

都内における子どもの歩行中の交通事故件数を年齢層別にみると、第11次の年平均では、小1～3が247件で最も多くなっています。第10次改訂版に比べて、40件減少しました。時間帯別では、降園や下校の時間帯に当たる14時～18時で最も多く発生し、次いで登園や登校の時間帯に当たる8時～10時が多くなっています。

表 2-9 都内年齢層別時間帯別子どもの歩行中事故件数（令和7年）

警視庁交通年鑑／（単位：件）

年齢層			時間	第 11 次改訂版計画期間									
			0～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	合計
東京都	令和 7 年	幼児	0	3	14	19	11	21	24	20	2	0	114
		小 1 ～ 3	0	20	44	6	23	75	54	14	0	1	237
		小 4 ～ 6	0	6	15	2	10	39	39	6	3	0	120
		中学生	0	5	15	2	8	13	14	5	4	1	67
		合計	0	34	88	29	52	148	131	45	9	2	538
			0～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	合計
	年平均 (5 か年)	幼児	1	2	18	16	14	21	36	22	3	0	133
		小 1 ～ 3	0	19	40	8	25	69	69	16	1	0	247
		小 4 ～ 6	0	6	13	2	9	35	30	9	3	0	107
		中学生	0	8	12	2	5	10	10	7	3	1	58
		合計	1	35	83	28	53	135	145	54	10	1	545

表 2-8 都内年齢層別時間帯別子どもの歩行中事故件数（令和2年）

警視庁交通年鑑／（単位：件）

時間 年齢層			第 10 次改訂版計画期間										
			0～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	合計
東京都	令和 2 年	幼児	0	3	16	13	23	27	38	27	5	1	153
		小1～3	1	18	27	13	17	74	61	11	0	0	222
		小4～6	0	6	13	3	12	23	21	7	3	0	88
		中学生	0	3	3	4	5	3	8	7	2	0	35
		合計	1	30	59	33	57	127	128	52	10	1	498
			0～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	合計
	年平均 (5 か年)	幼児	1	2	18	17	19	27	36	22	5	1	148
		小1～3	2	25	29	13	24	88	82	21	3	0	287
		小4～6	1	9	13	5	12	29	35	10	2	0	116
		中学生	0	9	11	3	4	8	12	11	2	1	61
		合計	4	45	71	38	59	152	165	64	12	2	612

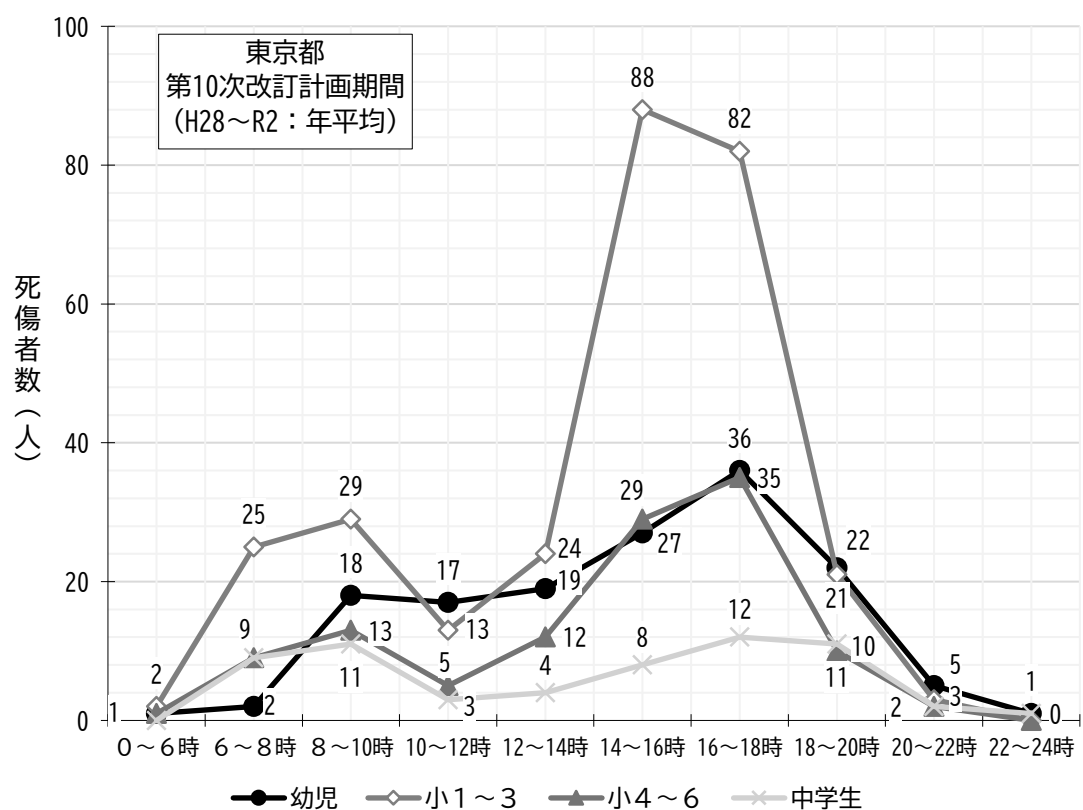
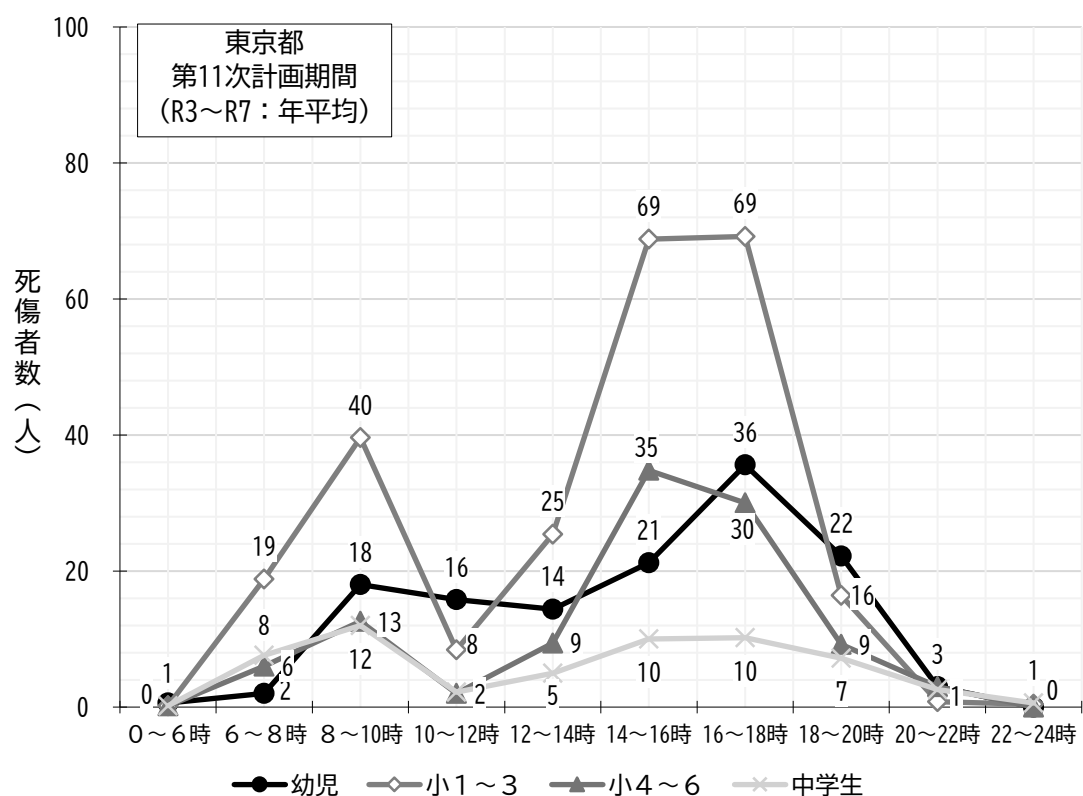


図 2-8 子ども事故死傷者数（東京都）
（上：第11次計画期間平均 下：第10次改訂版計画期間平均）

③ 子どもの状態別死傷者数

子どもの死傷者数を状態別でみると、第11次の年平均は第10次改訂版に比べて同程度です。区分別にみると、自転車乗車中が最も多く、次いで歩行中となっています。

表 2-10 子どもの状態別死傷者数

東京都：警視庁交通年鑑 文京区：区内四署集計／（単位：人）

区分		年	第 10 次改訂版計画期間					第 11 次計画期間					
		平成 28 年	29 年	30 年	令和元年	2 年	平均	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	平均
文京区	歩行中	13	8	8	8	12	10	17	6	4	12	9	10
	自転車（運転・同乗）	14	11	21	12	10	14	15	15	11	15	15	14
	二輪車（運転・同乗）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四輪車（運転・同乗）	2	3	3	0	0	1	1	3	1	0	1	1
	合計	29	22	32	20	22	25	33	24	16	27	25	25
東京都	歩行中	673	653	690	641	511	634	573	545	581	555	559	563
	自転車（運転・同乗）	1,066	1,072	1,078	1,065	830	1,022	958	1,072	1,282	1,196	1,176	1,137
	二輪車（運転・同乗）	9	8	8	12	8	9	4	8	9	13	22	11
	四輪車（運転・同乗）	526	505	452	378	263	425	260	279	285	245	246	263
	合計	2,274	2,238	2,228	2,096	1,613	2,090	1,795	1,904	2,157	2,009	2,003	1,974

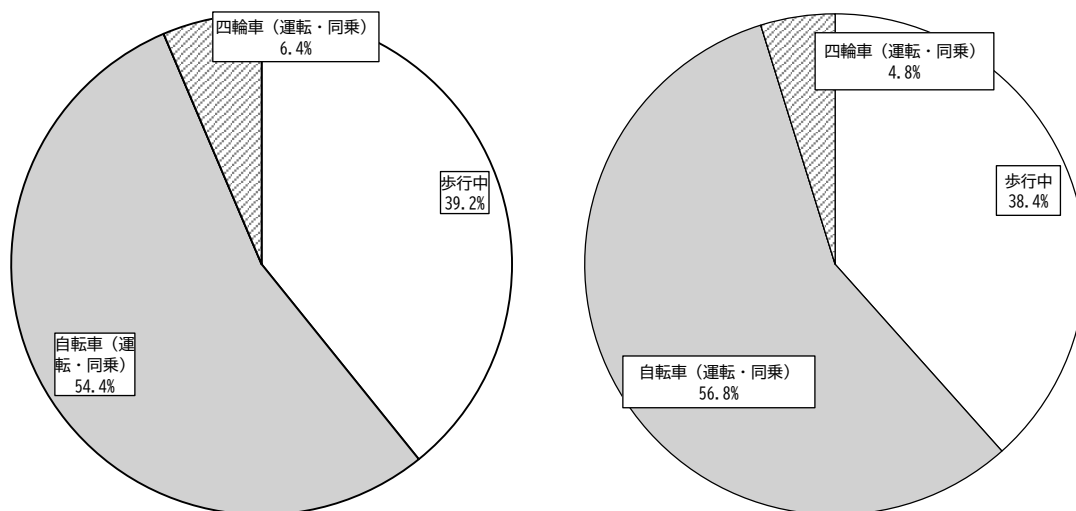


図 2-9 子どもの状態別死傷者数割合（文京区）

（左：第10次改訂版計画期間年平均 右：第11次計画期間年平均）

*グラフで用いている割合（％）は、表に出ていない総合計を基にした割合となり、表上の年平均を基にした割合と誤差があります。

④ 子どもの歩行中交通事故の原因別死傷者数

子どもの歩行中の交通事故死傷者数を事故原因別にみると、第11次の年平均では過失なしが最も多く、次いで飛び出しとなっています。

表 2-11 子どもの歩行中事故原因別死傷者数

東京都：警視庁交通年鑑 文京区：区内四署集計／（単位：人）

区分	年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
		平成28年	29年	30年	令和元	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
文京区	過失なし	8	2	4	6	6	5	10	3	2	11	4	6
	飛び出し	2	5	4	0	6	3	5	0	1	0	3	2
	幼児のひとり歩き	2	1	0	0	0	2	2	0	0	1	0	1
	車の直前・直後横断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路上遊戯	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
	横断禁止場所横断	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
	信号無視	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	合計	13	8	8	8	12	10	17	6	4	12	9	10
東京都	過失なし	409	442	461	433	338	417	397	390	403	396	383	394
	飛び出し	129	102	120	92	76	104	82	80	82	77	93	83
	幼児のひとり歩き	8	5	7	12	12	9	8	6	8	8	1	6
	車の直前・直後横断	14	6	13	14	8	11	10	8	13	10	9	10
	路上遊戯	15	10	12	4	6	9	6	6	8	5	6	6
	横断禁止場所横断	2	1	8	6	2	3	3	3	0	6	1	3
	信号無視	17	15	16	17	15	16	10	10	15	15	13	13
	その他	79	72	53	63	58	65	57	42	52	38	53	48
	合計	673	653	690	641	515	634	573	545	581	555	559	563

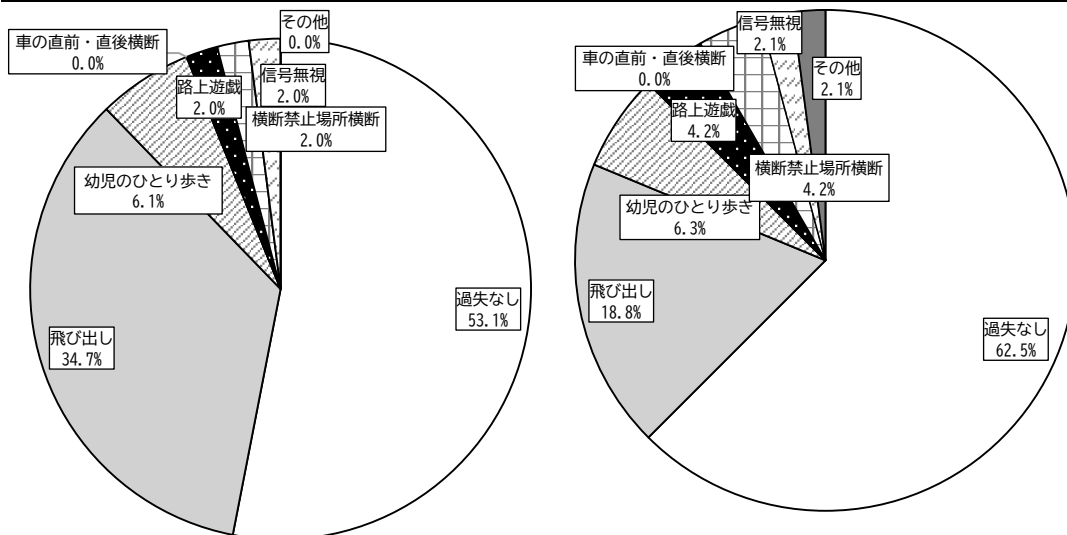


図 2-10 子どもの歩行中事故原因別死傷者数（文京区）

（左：第10次改訂版計画期間年平均 右：第11次計画期間年平均）

*グラフで用いている割合（％）は、表に出ていない総合計を基にした割合となり、表上の年平均を基にした割合と誤差があります。

(3) 自転車の交通事故

① 自転車事故件数及び年齢別死傷者数

文京区の自転車事故件数は、第11次の年平均が217件で、第10次改訂版の160件に比べて57件増加しました。全体に占める割合は、第11次の平均が46.7%で、第10次改訂版の40.0%に比べて6.7ポイント増加しました。

自転車事故による死傷者数について、第11次の年平均が192人で、第10次改訂版130人に比べて62人増加しました。全体に占める割合は、第11次の平均が38.2%で、第10次改訂版の29.0%に比べて9.2ポイント増加しました。

年齢別死傷者数の推移をみると、第11次の年平均では、成年層が122人で最も多くなっており、全体に占める割合が63.5%となっています。

表 2-12 自転車事故年齢別死傷者数

東京都：警視庁交通年鑑 文京区：区内四署集計／（単位：件 人）

区分	年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
		平成28年	29年	30年	令和元	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
文京区	交通事故全件数	430	390	405	406	367	400	476	450	469	472	459	465
	自転車事故件数※11	143	134	174	197	150	160	232	214	197	228	215	217
	自転車割合(事故件数)	33.3%	34.4%	43.0%	48.5%	40.9%	40.0%	48.7%	47.6%	42.0%	48.3%	46.8%	46.7%
	交通事故全死傷者数	488	440	454	457	405	449	508	484	505	511	500	502
	自転車事故死傷者数												
	子ども	15	11	21	13	9	14	13	14	9	15	17	14
	若年層	17	16	13	20	9	15	18	16	22	17	18	18
	成年層	72	66	94	95	73	80	131	109	110	141	119	122
	高齢者	17	20	20	27	22	21	34	42	32	37	47	38
	合計	121	113	148	155	113	130	196	181	173	210	201	192
	(内、死者数)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	自転車割合(死傷者数)	24.8%	25.7%	32.6%	33.9%	27.9%	29.0%	38.5%	37.4%	34.3%	41.1%	40.2%	38.2%
東京都	交通事故全件数	32,412	32,763	32,590	30,647	25,642	30,811	27,598	30,170	31,385	30,103	30,176	29,886
	自転車事故件数	11,218	11,901	12,865	13,094	11,443	12,104	12,035	13,883	14,524	13,773	13,845	13,612
	自転車割合(事故件数)	34.6%	36.3%	39.5%	42.7%	44.6%	39.3%	43.6%	46.0%	46.3%	45.8%	45.9%	45.5%
	交通事故全死傷者数	37,987	38,158	37,586	34,910	29,043	35,537	30,969	33,561	35,006	33,397	33,535	33,294
	自転車事故死傷者数												
	子ども	1,066	1,072	1,078	1,065	831	1,022	1,060	1,198	1,422	1,341	1,306	1,265
	若年層	1,330	1,451	1,544	1,471	1,158	1,391	1,188	1,492	1,546	1,421	1,439	1,417
	成年層	5,822	6,063	6,369	6,301	5,648	6,041	6,587	7,074	7,206	6,777	6,729	6,875
	高齢者	1,780	1,870	2,194	2,392	2,100	2,067	2,521	3,263	3,428	3,389	3,508	3,222
	合計	9,998	10,456	11,185	11,229	9,737	10,521	11,356	13,027	13,602	12,928	12,982	12,779
	(内、死者数)	36	28	25	34	34	31	18	30	32	25	21	25
	自転車割合(死傷者数)	26.3%	27.4%	29.8%	32.2%	33.5%	29.6%	36.7%	38.8%	38.9%	38.7%	38.7%	38.4%

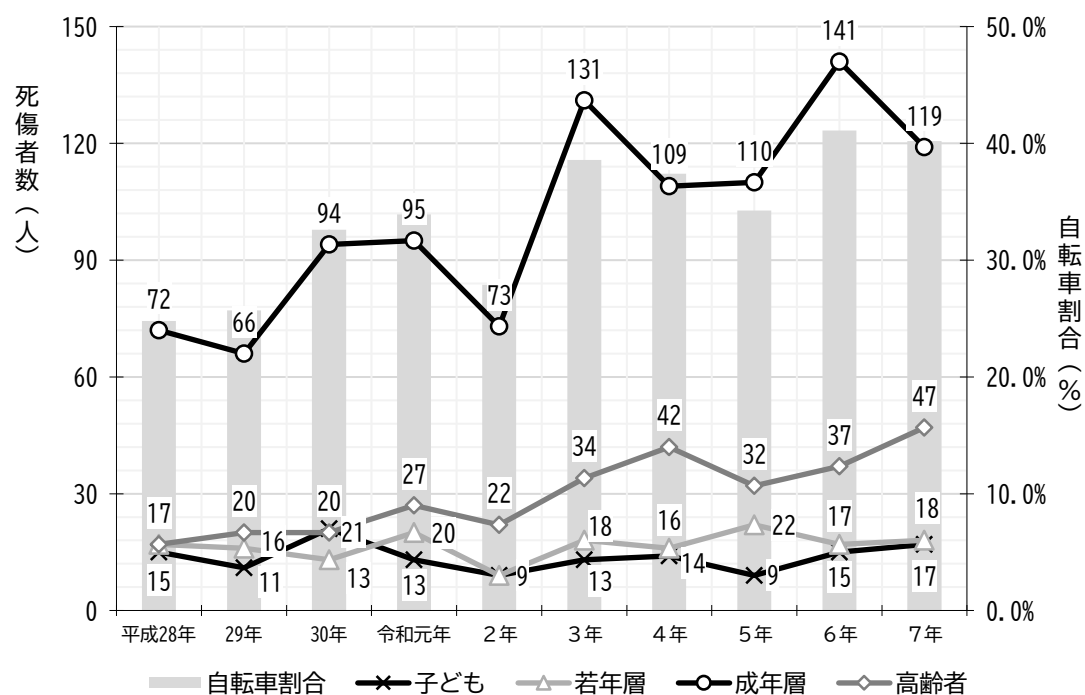


図 2-11 自転車事故年齢別死傷者数（文京区）

¹¹ 第10次改訂版計画期間内における集計方法は「(第1当事者)+(第2当事者)」であり、第11計画期間内における集計方法は「(第1当事者)+(第2当事者)-(第1当事者及び第2当事者ともに自転車)」となっており、集計方法が異なる。

② 都内自転車事故の違反別件数

都内における自転車事故を違反別にみると、第11次の年平均では、違反なしが4,681件で最も多くなっていますが、全体に占める割合は31.3%で、第10次改訂版の同49.8%に比べて18.5ポイント減少しました。次いでその他安全運転義務違反が多くなっています。

表 2-13 都内違反別自転車事故件数

東京都：警視庁交通年鑑／（単位：件）

区分		年	第 10 次改訂版計画期間						第 11 次計画期間					
			平成 28 年	29 年	30 年	令和元年	2 年	平均	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	平均
東京都	違反なし	6, 025	6, 451	6, 602	6, 015	5, 058	6, 030	5, 258	5, 448	4, 538	3, 920	4, 242	4, 681	
	安全不確認	1, 773	1, 827	1, 982	2, 034	1, 826	1, 888	1, 919	1, 960	2, 278	2, 286	2, 272	2, 143	
	交差点安全進行義務違反	1, 050	1, 094	1, 154	1, 099	851	1, 050	1, 183	1, 225	1, 597	1, 802	1, 873	1, 536	
	動静不注視	805	781	839	724	599	750	704	692	935	890	754	795	
	その他安全運転義務違反	605	739	1, 052	1, 939	1, 982	1, 263	2, 875	4, 522	4, 953	4, 755	4, 640	4, 349	
	一時不停止	459	508	630	629	565	558	682	695	735	703	576	678	
	信号無視	249	254	314	326	262	281	314	345	394	308	279	328	
	その他違反	252	247	292	328	300	284	397	389	495	416	473	434	
	合計	11, 218	11, 901	12, 865	13, 094	11, 443	12, 104	13, 332	15, 276	15, 925	15, 080	15, 109	14, 944	

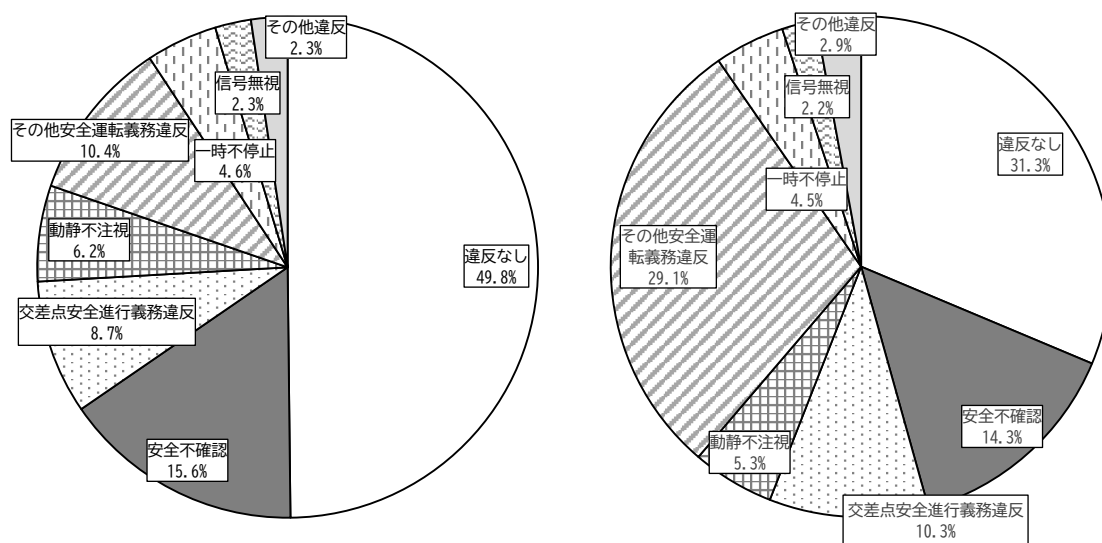


図 2-12 都内違反別自転車割合

（左：第10次改訂版計画期間年平均 右：第11次計画期間年平均）

* グラフで用いている割合 (%) は、表に出ていない総合計を基にした割合となり、表上の年平均を基にした割合と誤差があります。

③ 都内自転車事故の対象別件数

都内における自転車事故を対象別にみると、第11次の年平均では、四輪車が6,450件で最も多くなっています。全体に占める割合は47.4%で、第10次改訂版の同68.4%に比べて21.0ポイント減少しました。一方、自転車単独による事故は27.9%を占め、21.2%増加しました。

表 2-14 都内事故対象別自転車事故件数

東京都：警視庁交通年鑑／（単位：件）

区分	年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
		平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
東京都	歩行者	723	798	940	1,024	950	887	1,057	1,190	1,300	1,194	1,220	1,192
	自転車	801	952	1,094	1,220	1,036	1,021	1,297	1,393	1,401	1,307	1,264	1,332
	二輪車	694	648	709	645	598	659	606	658	653	618	628	633
	四輪車	7,899	8,148	8,300	7,408	6,173	7,586	6,568	6,589	6,714	6,173	6,206	6,450
	単独	151	250	499	1,366	1,461	745	2,325	3,824	4,258	4,273	4,298	3,796
	相手不明・その他車両	149	153	228	211	189	185	182	229	198	208	229	209
	合計	10,417	10,949	11,770	11,874	10,407	11,083	12,035	13,883	14,524	13,773	13,845	13,612

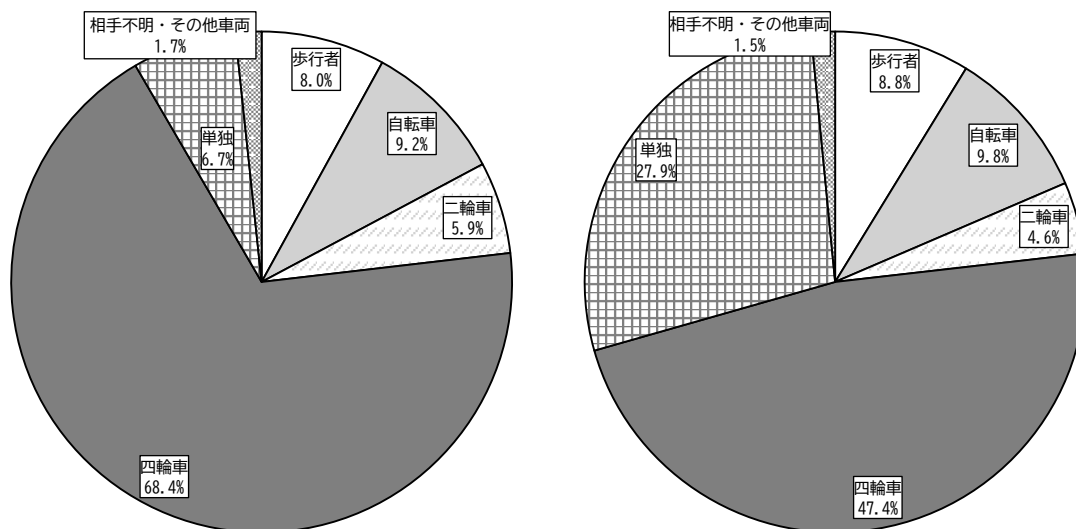


図 2-13 都内事故対象別自転車事故割合

(左：第10次改訂版計画期間年平均 右：第11次計画期間年平均)

*グラフで用いている割合(%)は、表に出ていない総合計を基にした割合となり、表上の年平均を基にした割合と誤差があります。

(4) 二輪車の交通事故

① 二輪車事故年齢層別死傷者数

二輪車事故の死傷者数を年齢別にみると、第11次の年平均では、成年層が70人と最も多く、第10次改訂版の54人に比べて、16人増加しました。その他の年齢層ではほぼ横ばいで推移しています。

表 2-15 二輪車事故年齢別死傷者数

東京都：警視庁交通年鑑 文京区：区内四署集計／（単位：件 人）

区分	年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
		平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
文京区	交通事故全件数	430	390	405	406	367	400	476	450	469	472	459	465
	二輪車事故件数	98	80	78	83	83	84	105	92	124	92	109	104
	二輪車割合(事故件数)	22.8%	20.5%	19.3%	20.4%	22.6%	21.0%	22.1%	20.4%	26.4%	19.5%	23.7%	22.4%
	交通事故全死傷者数	488	440	454	457	405	449	508	484	505	511	500	502
	二輪車事故死傷者数												
	子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	若年層	12	7	5	7	8	8	13	9	18	10	14	13
	成年層	51	56	47	62	54	54	66	65	82	68	69	70
	高齢者	6	3	5	3	9	5	10	6	10	4	9	8
	合計	69	66	57	72	71	67	89	80	110	82	92	91
	(内、死者数)	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	1	1
	二輪車割合(死傷者数)	14.1%	15.0%	12.6%	15.8%	17.5%	14.9%	17.5%	16.5%	21.8%	16.0%	18.4%	18.1%
東京都	交通事故全件数	32,412	32,763	32,590	30,647	25,642	30,811	27,598	30,170	31,385	30,103	30,176	29,886
	二輪車事故件数	6,485	6,462	6,207	6,094	5,300	6,110	5,540	5,996	6,317	6,023	6,095	5,994
	二輪車割合(事故件数)	20.0%	19.7%	19.0%	19.9%	20.7%	19.8%	20.1%	19.9%	20.1%	20.0%	20.2%	20.1%
	交通事故全死傷者数	37,987	38,158	37,586	34,910	29,043	35,537	30,969	33,561	35,006	33,397	33,535	33,294
	二輪車事故死傷者数												
	子ども	7	8	8	12	8	9	4	8	9	13	20	11
	若年層	964	1,038	987	946	819	951	817	928	984	952	987	934
	成年層	4,026	3,977	3,827	3,795	3,332	3,790	3,494	3,791	3,989	3,711	3,745	3,745
	高齢者	368	407	383	383	337	376	353	370	432	440	435	406
	合計	5,365	5,430	5,205	5,136	4,496	5,126	4,668	5,097	5,414	5,116	5,187	5,096
	(内、死者数)	40	41	44	28	40	39	35	40	44	38	35	38
	二輪車割合(死傷者数)	14.1%	14.2%	13.8%	14.7%	15.5%	14.4%	15.1%	15.2%	15.5%	15.3%	15.5%	15.3%

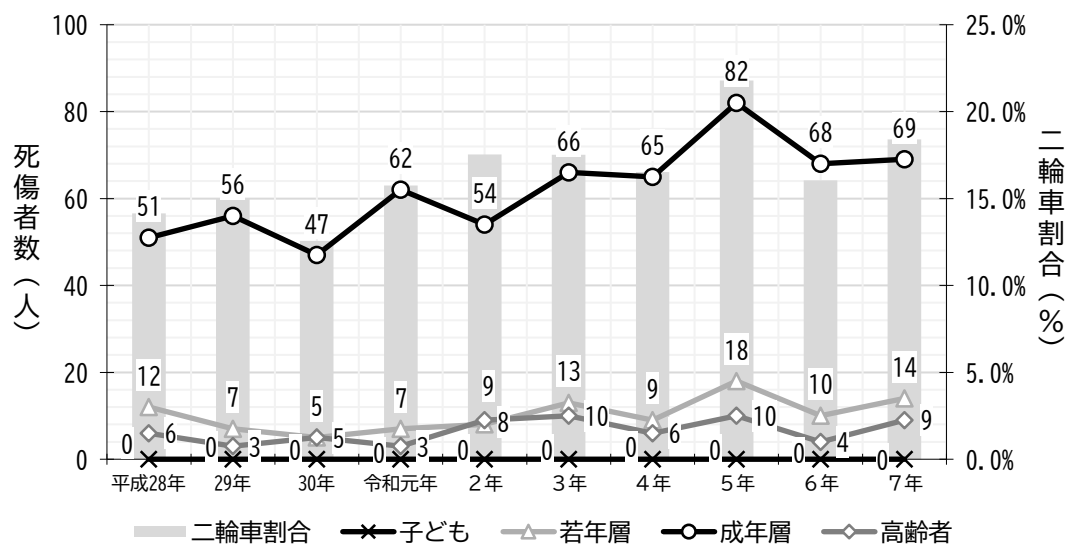


図 2-14 二輪車事故年齢別死傷者数 (文京区)

② 都内二輪車事故の原因別件数

都内における二輪車事故を原因別にみると、第11次の年平均では、ハンドル・ブレーキ等操作不適が640件で最も多く、第10次改訂版の242件に比べて398件増加しました。全体に占める割合は、第11次の平均が27.3%で、第10次改訂版の12.8%に比べて14.5ポイント増加しました。

表 2-16 都内二輪車事故原因別件数

警視庁交通年鑑／（単位：件）

			第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
			平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
東京都	二輪車	安全不確認	308	225	264	278	230	261	242	264	299	293	324	284
		前方不注意	102	116	126	122	107	115	134	150	176	142	173	155
		交差点安全進行義務違反	159	166	147	149	132	151	120	160	155	139	149	145
		ハンドル・ブレーキ等操作不適	109	148	200	216	211	177	274	377	497	496	524	434
		一時不停止等	17	17	19	23	21	19	18	23	26	26	19	22
		信号無視	48	48	43	50	47	47	43	54	53	85	67	60
		歩行者妨害等	27	14	16	23	23	21	17	21	26	24	20	22
		横断自転車妨害等	4	7	1	14	5	6	8	7	4	6	6	6
		その他	259	281	311	324	289	292	325	366	286	273	274	305
		合計	1,033	1,022	1,127	1,199	1,065	1,089	1,181	1,422	1,522	1,484	1,556	1,433
	原付	安全不確認	272	272	255	225	209	247	237	214	246	210	213	224
		わき見運転・前方不注視	94	98	78	73	77	84	97	92	118	114	118	108
		交差点安全進行義務違反	151	145	162	140	128	145	134	139	123	128	124	130
		ハンドル・ブレーキ等操作不適	54	65	60	76	72	65	103	191	258	228	251	206
		一時不停止等	58	48	46	54	46	50	38	49	57	40	34	44
		信号無視	30	20	22	23	22	23	24	30	32	29	30	29
		歩行者妨害等	21	12	19	24	13	18	17	16	10	16	21	16
		横断自転車妨害等	2	6	7	2	5	5	7	4	2	1	0	3
		その他	128	134	156	146	163	146	143	204	166	124	130	153
		合計	810	800	805	763	735	783	800	939	1,012	890	921	913
	合計	安全不確認	580	497	519	503	439	508	479	478	545	503	537	508
		わき見運転・前方不注視	196	214	204	195	184	199	231	242	294	256	291	263
		交差点安全進行義務違反	310	311	309	289	260	296	254	299	278	267	273	274
		ハンドル・ブレーキ等操作不適	163	213	260	292	283	242	377	568	755	724	775	640
		一時不停止等	75	65	65	77	67	70	56	72	83	66	53	66
		信号無視	78	68	65	73	69	71	67	84	85	114	97	89
		歩行者妨害等	48	26	35	47	36	38	34	37	36	40	41	38
		横断自転車妨害等	6	13	8	16	10	10	15	11	6	7	6	9
		その他	387	415	467	470	520	451	468	570	452	397	404	458
		合計	1,843	1,822	1,932	1,962	1,868	1,885	1,981	2,361	2,534	2,374	2,477	2,345

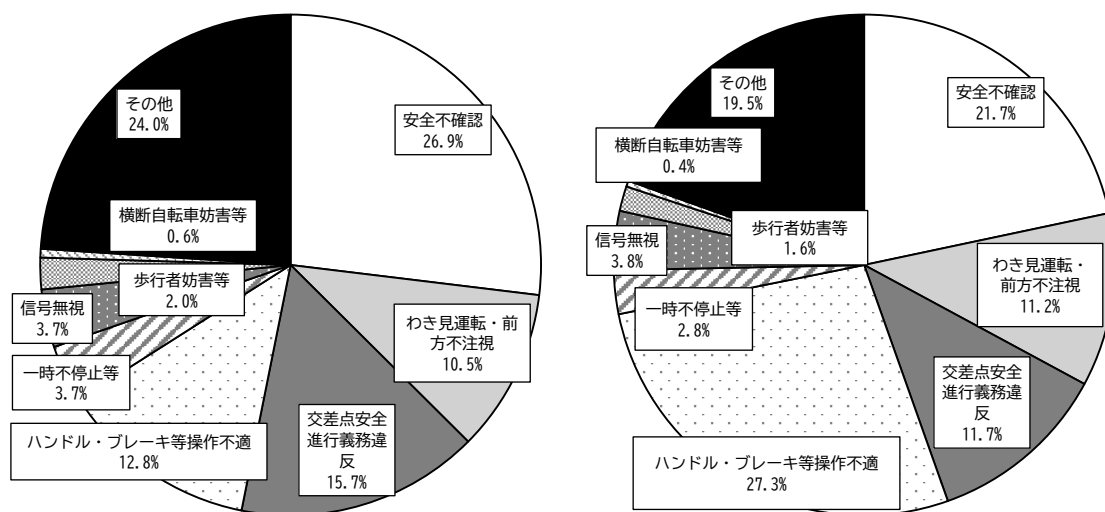


図 2-15 都内二輪車事故原因割合

(左：第10次改訂版計画期間年平均 右：第11次計画期間年平均)

* グラフで用いている割合(%)は、表に出ていない総合計を基にした割合となり、表上の年平均を基にした割合と誤差があります。

(5) 飲酒運転による交通事故

① 都内飲酒運転による事故件数及び死傷者数

都内における飲酒運転の事故件数は、第11次の年平均は166件で、第10次改訂版の171件に比べて、5件減少しました。飲酒運転による死傷者数は、第11次の平均は198人で、第10次改訂版の222人に比べて、24件減少しました。

しかしながら、飲酒運転による交通事故の根絶には至っていません。

表 2-17 都内飲酒事故死傷者数

警視庁交通年鑑／（単位：件 人）

区分	年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
		平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
東京都内	事故件数	202	174	177	152	151	171	137	166	180	154	195	166
	死傷者数	269	225	221	203	191	222	158	200	211	184	237	198
	死者	7	3	10	1	5	5	9	9	2	5	2	5
	重傷者数	9	13	11	14	19	13	11	18	25	16	23	19
	軽傷者数	253	209	200	188	167	204	138	173	184	163	212	174

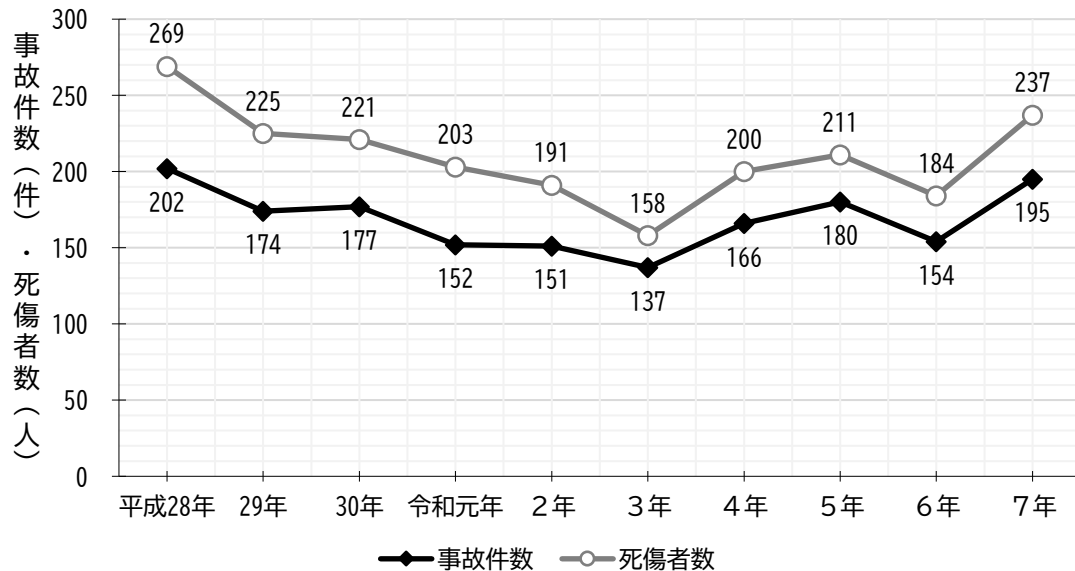


図 2-16 都内飲酒事故死傷者数

② 都内飲酒運転による事故の車種別件数

都内における飲酒運転による事故の車種別推移をみると、第11次の年平均では、乗用車が95件で最も多くなっていますが、第10次改訂版の108件に比べて減少しました。一方で、二輪車は第11次の年平均が45件で、第10次改訂版の30件に比べて、15件増加しました。

表 2-18 都内飲酒事故車種別事故件数

警視庁交通年鑑／（単位：件）

区分	年	第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
		平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
東京都	乗用車	126	118	101	88	105	108	82	100	82	95	118	95
	貨物車	44	33	31	34	23	33	23	26	36	19	26	26
	特殊車	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	二輪車	32	23	45	30	23	30	32	39	61	40	51	45
	合計	202	174	177	152	151	171	137	166	180	154	195	166

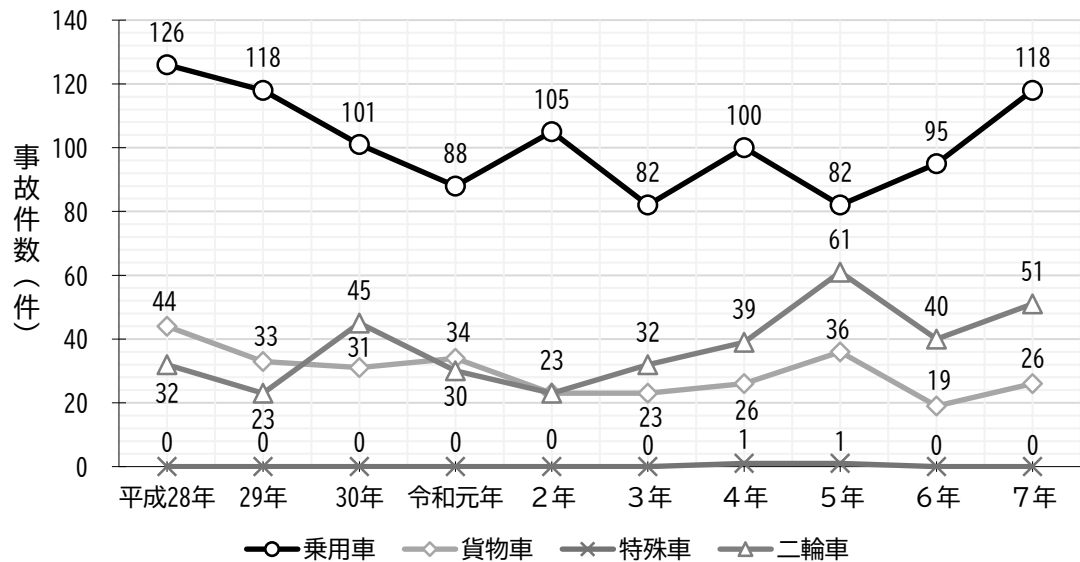


図 2-17 都内飲酒事故車種別事故件数

③ 都内飲酒事故年齢別事故件数

都内における飲酒事故件数を年齢別でみると、第11次の年平均では20歳代が最も多く、42件となっています。第10次改訂版に比べて6件増加し、全体に占める割合が25.4%となっています。

表 2-19 都内飲酒事故年齢別事故件数

警視庁交通年鑑／（単位：件）

年 年齢層		第10次改訂版計画期間						第11次計画期間					
		平成28年	29年	30年	令和元年	2年	平均	3年	4年	5年	6年	7年	平均
東京都	～19歳	5	7	6	5	3	5	9	3	5	9	6	6
	20歳代	34	27	44	40	35	36	30	43	50	39	49	42
	30歳代	51	24	27	20	25	29	21	29	33	25	25	27
	40歳代	43	57	45	31	37	43	31	40	34	31	43	36
	50歳代	34	34	34	30	33	33	27	27	36	28	40	31
	60～64歳	10	9	7	7	11	9	8	10	8	6	13	9
	65歳以上	25	16	14	19	7	16	11	14	14	16	19	15
	合計	202	174	177	152	151	171	137	166	180	154	195	166

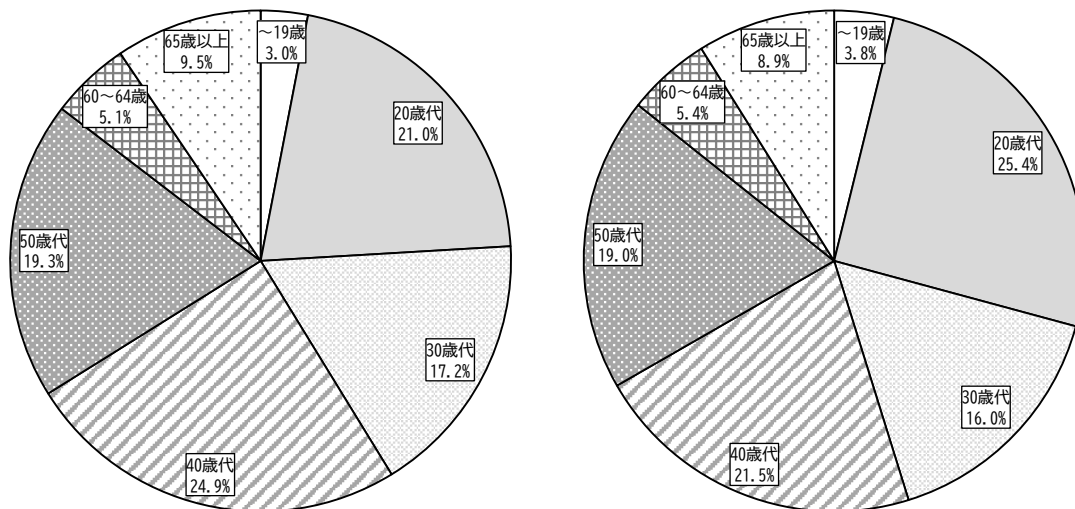


図 2-18 都内飲酒事故年齢別事故件数

(左：第10次改訂版計画期間年平均 右：第11次計画期間年平均)

* グラフで用いている割合(%)は、表に出ていない総合計を基にした割合となり、表上の年平均を基にした割合と誤差があります。

(6) 特定小型原動機付自転車事故の状況

① 都内特定小型原動機付自転車の事故件数

都内における特定小型原動機付自転車の事故件数は、令和7年が280件となり、令和6年の244件に比べて36件増加しました。相手当事者別にみると、令和7年では単独事故が84件で最も多く、全体に占める割合が30.0%になっています。

表 2-20 都内相手当事者別特定小型原動機付自転車事故件数

警視庁交通年鑑／（単位：件）

相手当事者 \ 年	令和6年	令和7年
乗用車	39	76
貨物車	24	29
二輪車	12	9
自転車	35	40
歩行者	36	37
その他	4	5
単独	94	84
合計	244	280

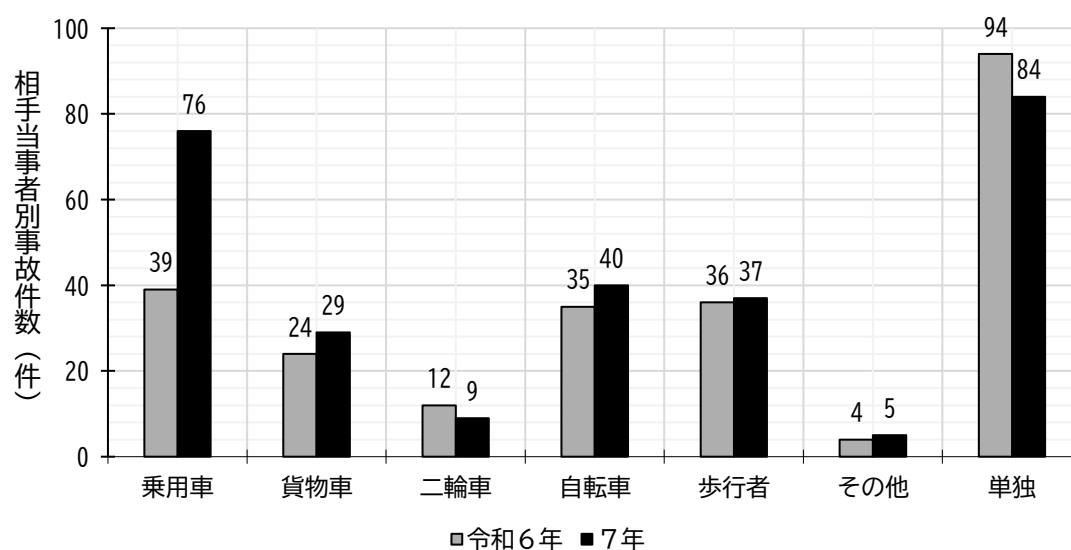


図 2-19 都内相手当事者別特定小型原動機付自転車事故件数

② 都内特定小型原動機付自転車の負傷者数

都内における特定小型原動機付自転車事故の負傷者数は、令和7年が201人となり、令和6年の176人に比べて25人増加しました。年齢層別にみると、20歳代が79人と最も多く、全体に占める割合が39.3%となっています

表 2-21 都内特定小型原動機付自転車事故負傷者数

警視庁交通年鑑／（単位：人）

年齢層 \ 年	令和6年	令和7年
20歳未満	1	8
20歳代	69	79
30歳代	54	60
40歳代	27	29
50歳代	21	21
60～64歳	1	3
65歳以上	3	1
合計	176	201

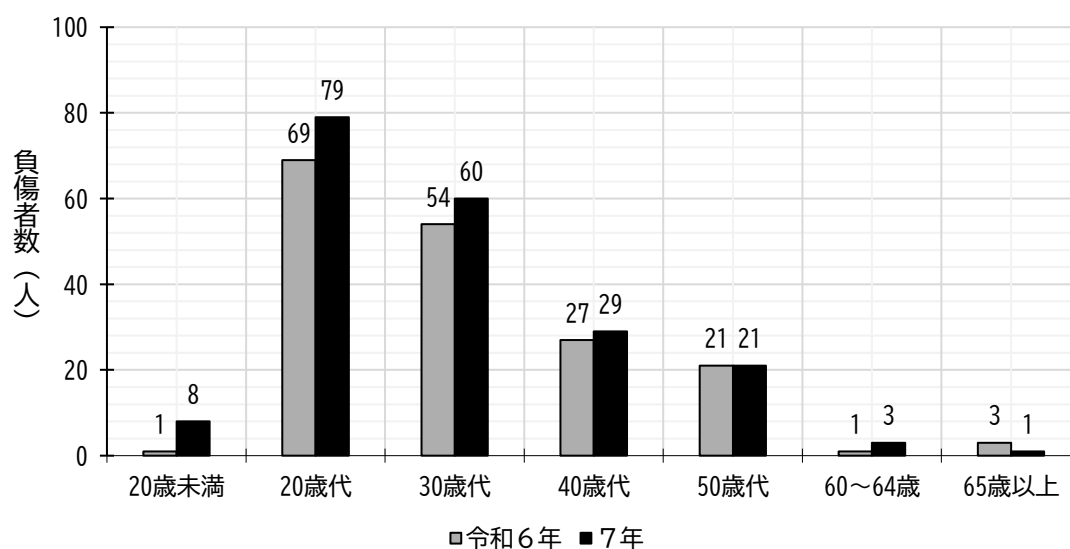


図 2-20 都内特定小型原動機付自転車事故負傷者数

③都内特定小型原動機付自転車事故の違反別負傷者数

都内における特定小型原動機付自転車事故の負傷者数を違反別にみると、令和7年ではハンドル・ブレーキ等操作不適が67人で最も多く、次いで交差点安全進行が34人、安全不確認が29人となっています。

表 2-22 都内特定小型原動機付自転車事故違反別負傷者数

警視庁交通年鑑／（単位：人）

種別 \ 年	令和6年	令和7年
安全不確認	18	29
動静不注視	7	9
交差点安全進行	9	34
一時不停止	7	9
ハンドル・ブレーキ操作不適	69	67
信号無視	4	5
その他	26	20
違反なし	36	28
合計	176	201

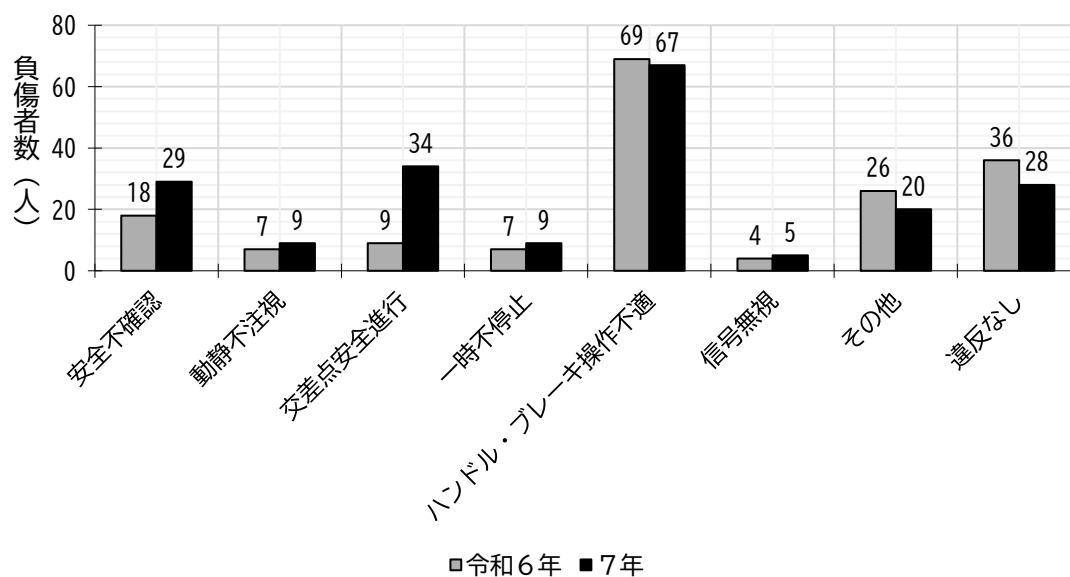
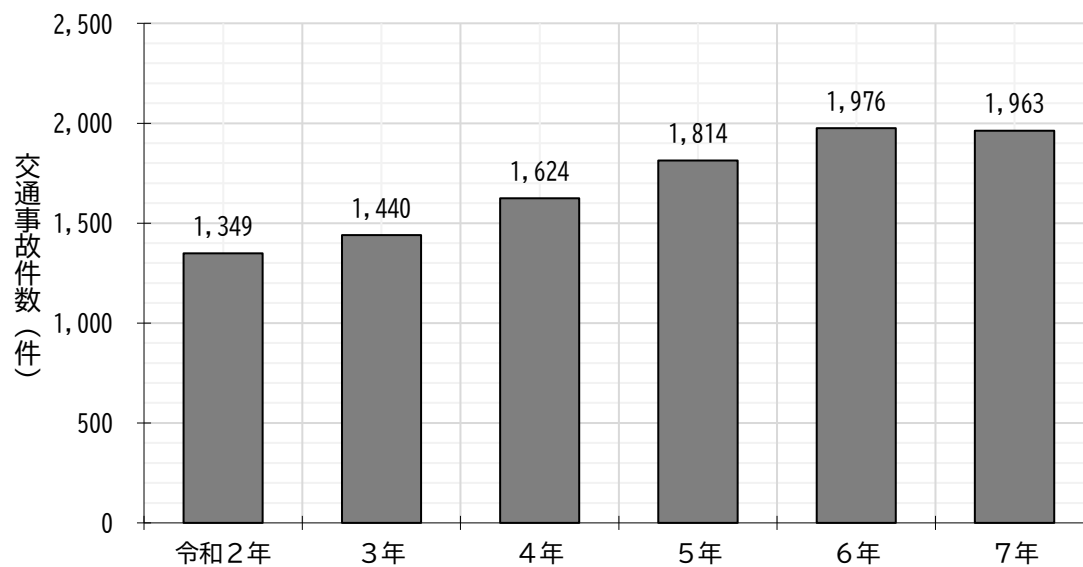


図 2-21 都内特定小型原動機付自転車事故違反別負傷者数

(7) 外国人運転者による交通事故の状況

都内における外国人運転者による交通事故の推移をみると、令和7年で1,963件となり、令和2年の1,349件に比べて614件増加し、約1.5倍に増えています。

第12次東京都交通安全計画／（単位：件）



※第1当事者が一般原付以上の外国人の件数

図 2-22 外国人の交通事故件数の推移